

授業科目名	情報教育法Ⅱ		開講年次	2	単位数	2
担当形態	単独	教員の免許状取得のための必修科目（高一種情報）				
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目（高一種情報）					
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
サブタイトル	専門教科「情報」の教育目標と指導法		担当者	宝剣 純一郎		
授業概要	<p><b>【概要】</b> 2013年度入学生から適用された学習指導要領では、専門教科「情報」の目標は、情報の基本的知識・技術習得、情報の意義・役割の理解、情報社会の課題を解決する能力と実践的な態度育成です。「専門教科」の名称が示すように、授業内容には高度なものが含まれます。授業だけでなくすべてを理解することは難しいと思われますので、大学あるいは自宅での授業外の学習が必須になります。</p> <p>また、2022年度から年次進行で実施される「次期学習指導要領」についても触れます。</p> <p><b>【到達目標】</b> 学習指導要領を理解し、専門教科「情報」の授業を担当できるようになることが最終目標ですが、そのためには教育の現場でコンピュータやネットワークの専門家として通用する知識・操作能力も修得しなければなりません。授業中あるいは授業外でこれらの知識・操作能力を修得しましょう。</p>					
履修条件	次年度以降に教育実習を行い、かつ「情報教育法Ⅰ」の単位取得済みの学生諸君が履修できます。					
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b> 1) 文部科学省「高等学校学習指導要領（本文）」 2) 高等学校情報科教科書（授業内に指示する）</p> <p><b>【参考書】</b> 必要に応じて紹介する</p>					
授業回数	授業内容					
1	<p>専門教科「情報」の目標とその内容</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節 復習：現行及び次期専門教科「情報」の目標を確認</p>					
2	<p>専門教科13科目の概要</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第1～第13 復習：専門教科13科目の概要を確認</p>					
3	<p>情報産業と社会</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第1 復習：科目「情報産業と社会」の授業内容を確認</p>					
4	<p>課題研究</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第2 復習：科目「課題研究」の授業内容を確認</p>					
5	<p>情報の表現と管理、情報と問題解決</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第3～第4 復習：科目「情報の表現と管理」「情報と問題解決」の授業内容を確認</p>					
6	<p>情報テクノロジー</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第5 復習：科目「情報テクノロジー」の授業内容を確認</p>					
7	<p>アルゴリズムとプログラム</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第6 復習：科目「アルゴリズムとプログラム」の授業内容を確認</p>					
8	<p>ネットワークシステム、データベース</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第7～第8 復習：科目「ネットワークシステム」「データベース」の授業内容を確認</p>					
9	<p>情報システム実習、情報メディア</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第9～第10 復習：科目「情報システム演習」「情報メディア」の授業内容を確認</p>					
10	<p>情報デザイン、表現メディアの編集と表現</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第11～第12 復習：科目「情報デザイン」「表現メディアの編集と表現」の授業内容を確認</p>					
11	<p>情報コンテンツ実習</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第13 復習：科目「情報コンテンツ実習」の授業内容を確認</p>					
12	<p>専門教科13科目の振り返り</p> <p>予習：高等学校学習指導要領第3章第7節第2款第1～第13 復習：専門教科13科目の授業内容を再確認</p>					
13	<p>学習指導案の作成(1) 学習指導案の構成を学ぶ</p> <p>予習：学習指導案作成の科目・単元を決める 復習：学習指導案の不足部分を確認</p>					
14	<p>学習指導案の作成(2) 学習指導案を読み込む</p> <p>予習：学習指導案の不足部分を補充 復習：第1回発表でわかった要改訂部分を確認</p>					
15	<p>学習指導案の作成(3) 学習指導案の相互批評</p> <p>予習：学習指導案改訂部分を準備 復習：第2回発表でわかった要改訂部分の確認とその作業</p>					
評価方法	授業中に課した課題(50%)、授業への参加態度(50%)で評価します。					
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切に課題などを完成させた者には「S」または「A」、理解してはいるが、一部理解に不十分な箇所がある者については、その程度に応じて「B」または「C」とします。授業内容の理解自体が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とします。評価不能な「F」とします。					
その他						